町長×20歳　未来のよこしばひかりを語る

11月29日、二十歳を祝う式典実行委員の方を4人迎え「未来のよこしばひかりを語る」について、およそ2時間語り合いました。

左から、松村大地さん、宇井詩音さん、佐藤町長、田谷夏姫さん、園部拓海さん

町長
今日は、みなさんの貴重な時間をいただきありがとうございます。いろいろな意見や質問をお聞かせください。

田谷さん
私は、大学でオリエンテーション部に所属しており、横芝光ＩＣ周辺産業用地整備基本計画に「九十九里エリアの特産品やレジャーを楽しむ回遊ルートをつくる」と書かれている部分が気になりましたが、具体的にどのようなことをしていますか。

町長
具体的には、アウトドアメーカー「mont-bell」のフレンドタウン登録を行い、栗山川のカヤックツアー開発や、特産品のネット通販など連携を深めています。令和3年2月から、隣接する芝山町、山武市、横芝光町が連携して「フレンドエリア九十九里」を結成しました。
フレンドエリア九十九里と成田国際空港がサイクルツーリズムで連携し、空港から海へ向かうサイクルイベントなどを開催しています。

園部さん
近隣市町村のような道の駅を作る構想はありますか。

町長
横芝光ＩＣ周辺などに、道の駅のような賑わいのある施設があったら良いとも思います。例えば、町の特産品であるモツ、大木式ハム・ソーセージ、ひかりねぎ、海産物など、町の特性を活かしたまちづくりをしていきたいと思います。

宇井さん
私は、社会人として働いており、勤め先ではペーパーレス化が進められています。また、勤め先では、座席を自由に選んで働くことができます。
町役場では、ペーパーレス化や職員の座席の自由化は行っていますか。

町長
令和5年度にデジタル専門官を採用して、企画空港課内にデジタル推進室を設置し、ペーパーレス化やテレワークなどのＤＸを推進しています。
ペーパーレス化については、町議会で議員一人ひとりにタブレットを配布し、町議会の資料をペーパーレス化しています。また、職員や町民のデジタルスキル向上と合わせ、段階的にペーパーレス化を進めていきたいと思います。
職員の座席の自由化に関連して、町では令和6年度に職員テレワーク実施要綱を施行しており、多様な働き方に対応できるようにしています。

松村さん
公園の遊具が撤去されていますが、今後増やす予定はありますか。

町長
最近では、安全面への配慮などから全国的にも事故リスクの高い遊具を減らす流れがあります。
その一方で、ふれあい坂田池公園などでは、親子で安心して遊べる遊具を整備して、子育て世代のみなさんに、「遊具が減った」という印象だけでなく、町内には安心して遊べる公園があるということも、ぜひ知っていただきたいと思っています。
最後にみなさんには、これからの人生でいろいろなことに挑戦し大きく羽ばたいて、ふるさと横芝光町の応援をよろしくお願いします。
また、1月に開催される二十歳を祝う式典を実行委員のみなさんのご協力をいただきながら、思い出に残る式にしましょう。